きみかめ便り　1月号

～千葉県立君津亀山少年自然の家 所報～

新年明けましておめでとうございます。2014年は皆さんにとってどんな年だったでしょうか。私にとっては初めて所長という大役を頂戴し、気分的に右往左往した年だと振り返っています。

本年は「笑顔」を大事にしたいと思います。笑顔がなくなると元気がなくなる。笑顔がなくなると気力もなくなる。笑顔がなくなると人とのつながりも薄くなる…!?「笑う門には福来たる」ということわざもあるように、いつも笑顔が絶えない人は総じて元気よく、やる気もあり、友達も多いように思います。

ただ、笑顔が大事と分かっていてもなかなか笑顔になれない時もあります。そんな時、皆さんはどうしますか？私は思いっきり笑うか思いっきり泣くかのどちらかです。大人になると子どものように感情をストレートに表現することが難しくなりますが、たまにはそんなブレーキを外してしまうとなんだかスッキリします。

笑顔を忘れず、本年一年駆け抜けていきます。本年もどうぞ宜しくお願いします。　　所長　庄司達哉

ある日のきみかめ ～利用団体レポート～

2014年 8月9日～11日
袖ヶ浦市子ども会育成会連絡協議会様
（宿泊：研修18名、引率7名）

七宝焼きづくりの様子

研修内容

1日目：団体のオリエンテーション ⇒
☂子ども会活動⇒ 室内オリンピック

2日目：朝のつどい⇒ ピザづくり
⇒救急法⇒ プラネタリウム⇒
☂キャンドルファイア⇒ ミーティング

3日目：朝のつどい⇒ 清掃・退所点検
⇒七宝焼き⇒ 奉仕活動（清掃・整備）

「初級ジュニアリーダー研修」で、毎年夏にきみかめをご利用くださる「袖ヶ浦市子ども会育成会連絡協議会」の田中会長に、子ども会について伺いました。（文:内田）

袖ヶ浦市の子ども会育成会ついて教えてください。

袖ヶ浦市の子ども会育成会連絡協議会は、昭和47年4月に設立され、今年で26年目です。私がリーダーたちときみかめに泊まるようになってからは19年目です。

子どもたちの「育成」も勿論ですが、子どもたちに将来「地元に根付いてほしい」というのが一番の願いです。大学進学や就職で一時的に離れることもありますが、何割かでもいずれ地元で活躍してもらいたいと思っています。社会福祉協議会には全部で12の団体がありますが（少年野球、レクなど）その点、同じ想いでしょう。

リーダーたちがイキイキしていました。何が違うのでしょう？

子ども会活動に正解はありませんが、何か違うとしたら、袖ヶ浦市の子ども会では「大人は何も言わない」「大人が仕切らない」ようにしています。「リーダー」（子ども会でステップアップしてきた中学生・高校生たち）にゆだねています。リーダーたち自身が計画・準備の段階から関わり、当日を迎えます。実施中も、よほどのケガに繋がらない限り、大人（育成者）は何もいいません。（きみかめに到着して最初の方で、「他団体に迷惑をかけるな」くらいは言います）。大人はキャンプ中、体調不良が出たらその子についたり、リーダーからヘルプが出たらサポートをします。

研修が終わると、リーダーたちは「大変だったけど、とっても楽しかった！」と言います。参加者の子どもたちも、共同生活や、ピザづくりや初めての包丁経験などで自信をつけていきます。集合場所まで子どもを迎えにきた親御さんには、「家でもやらせてあげて！」と私は言って送り出しています。

リーダーたちはどんな大人になるのでしょう？

リーダーたちは職業でいえば，学校の先生、幼稚園の先生、看護師、老人介護士、そして袖ヶ浦市役所の職員になった人もいます。皆、人に関わる仕事です。キャンプで子どもと関わったことがきっかけで、大学で福祉分野を志した人もいます。半分冗談で、「将来、私の面倒も見てよ！」というと優しい笑顔で返してくれます。企業勤めでもよい会社員になるでしょう。また、参加者に接する彼らの姿を脇で見ていて、将来「親」になったら自分の子どもを大切にすると確信します。

きみかめのよさは？　スタッフが明るく、指導が丁寧です。また、子ども会のOB/OGが仕事後、最後のたとえ10分でも「応援に駆けつけられる」距離が良いです。

アクティビティ PICK UP!!

冬ならではの楽しさ

『たき火deスイーツ』

比較的温暖な千葉県の中でも、ここ君津は山深いせいか冬の寒さが厳しいように感じられます。そんな冬のお楽しみといえば…？そうです、たき火です。

今月ご紹介する活動は、「たき火deスイーツ」。火の暖かさを一番ありがく感じられるこの季節ならではのアクティビティで、森から枝や葉っぱを拾ってきて起こした火を使い、おやつを焼いて食べれば…森もきれいになり、身もあたたかく、おなかも舌も大満足！おやつはマシュマロや焼きイモ、チョコバナナや焼きりんごなど、季節によってお好みで種類を選ぶことができます。

野外炊飯でなくとも火を起こす体験ができて、甘いものが食べられるこの活動は、手軽なので日帰りのご利用にもおススメです。（文　上地）

- ●対象　幼児～大人
- ●人数　50名程度迄
- ●時間　1～2時間
- ●費用　食材費のみ

（薪使用の場合、薪実費）

落ち葉で焼き芋

お知らせ

きみかめインフォ！

☆H27年度の予約

1月1日時点で

県内団体様は

2016年1月31日迄の期間、

県外団体様は9月30日迄の期間ご予約いただけます。

プログラム構成、所外フィールドや外部講師による出前授業などもご相談いただけます。

☆H27年度 利用の手引き アクティビティ一事例集

2月上旬HP更新・発送予定です。

◇一部料金変更を検討しています。

◇新規プログラム：森のアスレチック、バードウォッチング、館内ラリー、竹水鉄砲づくり、ダンス、ネイチークラフト（バージョンアップ）

◇外部活動紹介；釣り体験

◇団体紹介：SATOYAMAよくし隊

など新規の情報を含める予定です。

☆H26冬期～春休み利用

春休みの一部を除けば、まだまだ予約受付中です。日帰りも大歓迎！（グラウンドゴルフやプラネタリウムの後、プロが作るランチはいかがですか？他団体の利用がなければメニューや素材変更も相談頂けます）

☆ 今後の主催予定、

1月18日（日）星空観察会

1月28日（水）上総七福神巡り ほか

詳細は、きみかめHPに掲載中です。

近隣フィールド 紹介

☆ 梅ヶ瀬渓谷の大ツララ、日高邸跡

市原市「梅ヶ瀬渓谷」は紅葉で有名ですが、山歩きが好きな方には四季通じて人気のあるスポットです。冬1～2月の朝は、断層から滲みだす水で見事なツララ群が出現します。「日高邸跡」、「大福山」も必見です。

◇梅ヶ瀬渓谷

同渓谷は、養老川の支流「梅ヶ瀬川」が丘陵を侵食してできたものです。清流沿いに歩けば、梅ヶ瀬層とよばれる浸食断層が随所に見られ、中でも高さ30-50m、長さ約80mにわたる場所では、地層からしたたり落ちる地下水が冬の朝に見事なツララとなります。ツララ見物に出かければ、深山の静けさに包まれ、心身もリフレッシュすることでしょう。

（入口）女ヶ倉～日高邸跡までの道のり（約2.2km）は、幾度となく浅い沢を横切って前進します。ほとんど橋はなく、川の中の岩や石を選びながら渡ります。（よい季節なら思い切り濡れて遊んでも楽しいですが、冬は防水が効いた靴か長靴がよいでしょう。）大福山へ向かう尾根（約1km）は傾斜が険しいですが、秋は燃えるような紅葉、初春には一面に咲くスミレ、冬には冬の渓谷美が前に進むエネルギーを与えてくれます。

◇日高邸・梅ヶ瀬書堂 跡

梅ヶ瀬渓谷の奥地には、九州高鍋藩出身の教育者「日高 誠實のぶざね」の邸宅跡と氏が指導した私塾「梅ヶ瀬書堂」（1888～1901年）跡があります。今やカエデ、池、家屋礎が残る、面影わずかな遺構です。しかし、この山奥の狭い土地にかつて2階建ての学舎があり、多い時で80名、13年間で千人もの若者が向学心に燃えて各地から参集（市原、君津、長生、山武、夷隅等）。教育以外の事業（梅4百本植樹・林業・牧畜・漁業・特殊作物）は、荒天の度に打撃を受け、ことごとく失敗するも、「梅ヶ瀬書堂」の教育は世に高く評価されました。門弟は小湊鉄道創設従事者、月出小学校長、漢詩人、書道家等として活躍しました。

◇大福山

標高292m。山頂は「白鳥神社」。展望台から360度、房総のパノラマが見られます。

◇アクセス

小湊鉄道「養老渓谷駅」が最寄り駅。きみかめ号で「女ヶ倉」まで送迎できます。駅から全て歩いても面白いです。（文:内田）

梅ヶ瀬のツララ

スタッフ リレー紹介

～きみかめスタッフが他のスタッフを紹介するコーナーです～

今月の人

「指導室長 白井健（しらい たける）」

☻今月紹介するスタッフは、指導室長の白井健さんです。

白井さんは今年結婚されて、来年にはお父さんになる予定らしいです。若いですが、とても優秀なので春から指導室の長として活躍しています。

明るく元気で誰にでも親切で、とても優しい人です。キャンプネームは「ネギ」です。なんで「ネギ」なのかはわかりません。

野外活動から、ネイチャークラフト、仲間作りと何でも一流です。特に野球は小学校から大学までやっていたのでプロ級です。

わら細工を教える“ネギ”

紹介した人

山崎 明

少年自然の家に来てからは、山登りやスキーのスキルもアップされているようです。身体を動かす事が好きで、何事にも真剣に取り組み自分の物にして私たちスタッフに伝達してくださいます。

きみかめにお出での節はぜひ「ネギ」にお声がけしてみてください。

千葉県立君津亀山少年自然の家

所報 第68号 2015年1月

292-0526 君津市笹字片倉1661-1

TEL：0439-39-2628

FAX：0439-39-2609

E-mail: info@kimikame.net

HP：http://www.kimikame.net

Facebook：https://www.facebook.com/kimikamesizen

Twitter：@kimikamesizen

バックナンバーもご覧いただけます！

「きみかめ」は**千葉自然学校グループ**が県指定管理者として運営しています。